

第5章 埼京線（大宮～池袋）

第1節 大宮～戸田

＜川越線＞ ご参考

南古谷駅からの続きは、1週間後の2003年10月18日（土）となった。本日は家内がパート休みのため、セブンの散歩は免除となった。それ故、1時間位早く出発することができた。南林間駅を6時40分の電車で、現地である南古谷駅に向かう。途中の新宿駅では、記念すべき場面に直面することができた。2004年度でお別れとなる。「2600形塗装復活記念」用の小田原駅行きの電車（7時半頃：全体が紺系で窓部分が黄土色の電車）である。車掌さんの話によると、特別の乗客券がいるとのことであった。たくさんの人がこの電車の写真撮影を撮っていた。私もタイミングよくカメラに収めることができた。うとうとして、大宮駅から指扇駅（さしおおぎ）までの道路状況を観察できず。運良く指扇駅で目が覚め、南古谷駅までは観察ができた。荒川があり、南古谷駅＝指扇駅間は難しい感じであった。8時35分南古谷駅に到着。

浦和川越新道踏切を渡り、川越市立東中学校の通りを通り、指扇駅を目指す。荒川を気にしての歩きとなった。途中、本日と明日にかけて、川越祭りのポスターを目にした。国道16号線に出たところで、もう少しで進行方向を誤りそうになった。地図を見て難を逃れる。入間川・荒川の土手には9時25分到着。川原では、古谷自動車教習所があったほか、熟練の年配者のゲートボール大会のイベント風景にも出会った。また、ゴルフ場では秋のひと時を楽しんでいた。橋は1kmはゆうにあると思われた。ゴルフ見物で5分位足を止めたため、向こう岸の土手の近郊にある大込樋管には9時50分の到着となった。ややこしい道路を経由して、指扇駅には10時10分に着く。南古谷駅から日進駅までJR線の踏切を何回も渡りながら歩く。平方新道踏切、宮前氷川神社、さいたま市立宮前中学校経由で日進駅には11時25分到着。日進という地名を聞き、どこかで聞いた地名であると思ったら、愛知県の日進市（私の大学時代友人の住所）だった。

<埼京線>大宮～戸田

大宮(12:55)～北与野(13:35)～与野本町(13:55)～南与野(14:20)～中浦和～
武蔵浦和(15:20)～北戸田～戸田(16:25)



※大宮駅

大宮駅の近くの「麺ぱり」のいうラーメン屋で12時15分過ぎ昼食を取る。大宮駅の西口には12時55分に着く。東口とは違う都会の様相をしていた。駅前の広場では参議院員補欠選挙のため民主党候補の演説があった。北与野駅(13時35分)辺りから小雨に遭う。確か、京浜東北線走破のときは浦和駅近郊で、武蔵野線の走破の時は武蔵浦和駅近郊で雨に遭った。本日もついていない。埼京線の橋げたの下は、駐車場や施設の多目的で活用されていた。大宮駅以降は、午前中と比べ道が埼京線の橋げたに沿う単純な歩きとなった。その上小雨模様で快適な気分を堪能することができなかった。



※北与野駅、与野本町駅

集中力を欠いたこともあり、中浦和駅を写真に収めることができなかった。武蔵野線が中浦和駅辺りから登場するとは思わなかった。武蔵野線に惑わされた。貨物列車が走っていた。鉄道の橋げたが埼京線と異なっていた。冷静になり地図を確認していれば簡単に識別できたと思うが、雨でその気力もなし。与野本町13時55分、南与野14時20

分、武蔵浦和 15 時 20 分、北戸田 16 時経由で戸田駅には 16 時 25 分到着。今日は阪神＝ダイエーの日本シリーズがあるので、1.1Km先の戸田公園までの歩きを断念する。16 時 38 分の電車で帰宅する。自宅には 18 時 20 分到着。本日の歩きは、23.6Km、58,162 歩だった。



※南与野駅、中浦和駅



※武蔵浦和駅



※北戸田駅、戸田駅

第2章 戸田～池袋

戸田(10:50)～戸田公園(11:10)～浮間舟渡(12:00)～北赤羽(12:40)～
赤羽(13:55)～十条(14:45)～板橋(15:30)～池袋(16:30)

川越・埼京線の仕上げは、先週に引き続き2003年10月25日(土)となった。このシリーズを振り返ってみると、高麗川駅から西川越駅まではJR線に沿って幹線道路があったため、迷うことなく進むことができた。一方、西川越駅から大宮駅までは、JR線に沿った幹線道路がない他、入間川と荒川が途中に出現して地形を複雑化していたので、歩くのに苦労した。大宮駅から戸田駅までは、鉄道が高架して歩きやすかったが、中浦和駅近辺で武蔵野線が絡み迷ってしまった。本日のコースである戸田駅＝池袋駅はどんなドラマが私を楽しましてくれるのか。



※戸田公園駅、戸田公園駅への路



※浮間舟渡駅、浮間公園

昨日は、ドッチボールの応援後、軽く飲んだ関係で、自宅を出るのは9時前となった。当然、7時前に起床し、家内の機嫌も考慮し、愛犬セブンの散歩は済ませた。戸田駅には10時50分の到着となった。戸田駅から15分位歩いたところで、珍しい光景に遭遇

することができた。それは、電話通り、五差路通り、中央通りの6交差点である。珍しいあまり、何回も交差点に対面する道路の本数を数えた。戸田公園には11時10分に到着。今日も鉄道の橋げたの下は、多目的に使用されていた。前回の駐車場に比べ、飲食店やスーパー等が目立った。荒川を渡ると東京都であった。浮間舟渡駅で12時位になったので、駅前の松屋で昼食をとる。



※荒川、北赤羽駅

昼食後駅前にある浮間公園を散策する。池の畔にある木々は少し紅葉になりつつあった。浮間の自治体の広場では、秋のイベントの準備の場面に遭遇する。浮間舟渡駅と北赤羽駅（12時40分）が荒川と新河岸川の間であり、つたい歩きをするのに神経を費やした。赤羽駅への道は丘があり、何回も引き換えしながらの歩きとなった。途中、諏訪神社があった。13時35分赤羽駅に着く。大宮駅に次いで賑やかなターミナル駅であった。駅間のイトーヨーカー堂で小休止する。



※赤羽駅、十条駅

赤羽駅から板橋駅にかけて、JR線に沿った幹線道路がないため、北区・板橋区の閑静な住宅街を中心に散策する。それ故、袋小路に入り何度も引き返す事態となる。北区立清水小学校経由清水坂公園にも立ち寄る。300～400m位続く十条銀座のアーケードではあたたかも年末のような活気であった。丁度真ん中辺りで大道芸4人のグループに遭遇す

る。フルート・太鼓等による「ちびまるこ」の曲が演奏していた。昔はよく、パチンコの新装の際よく見かけたものである。最近ではあまり目にしないので、つい懐かしく思えた。



※板橋駅、夜の板橋駅（2021年12月17日（金）撮影）

十条駅には14時45分到着。この駅から少し行ったところに、東京家政大学があった。沢山の若者と出会うので、何があるのかと思っていたところ、文化祭（緑苑祭）があった。「語る人形」というタイトルの演劇（無料）が明日あるとのことであった。板橋駅への道は迷ったので、親子づれの人に聞いてクリアする。高速道路を鉄道と錯覚したのが敗因だった。板橋駅には15時30分に着く。池袋駅への道も東武鉄道東上線が絡み、道に迷うようになったが、何とか地図を見て難を逃れる。ここでも高速道度の辺りとなった。池袋駅には16時30分到着。自宅には18時10分に着く。今日の営業距離は12.3Km、万歩計は44,836歩だった。今日は曇り空であったが、一日雨に遭うことはなかった。ペットボトルは1本で、汗は余りかかなかった。本日で川越線・埼京線54.1Kmを走破した。夏場であれば、2日でクリアできるが、3日要した。



※池袋駅